日進市 道の駅 基本設計概要書

目　次　　頁

1. 設計概要・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1.
2. 基本方針・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2.
3. 全体計画図・・・・・・・・・・・・・・・・ 3.
4. 施設配置計画・・・・・・・・・・・・・・・ 4.
5. 施設配置イメージ・・・・・・・・・・・・・ 5.
6. 建築デザイン計画・・・・・・・・・・・・・ 6.
7. 建築平面計画・・・・・・・・・・・・・・・ 7.
8. 各室計画・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8.
9. 概算事業費・・・・・・・・・・・・・・・・ 9.
10. 基本設計図・・・・・・・・・・・・・・・・ 10～13

平成30年12月　日進市

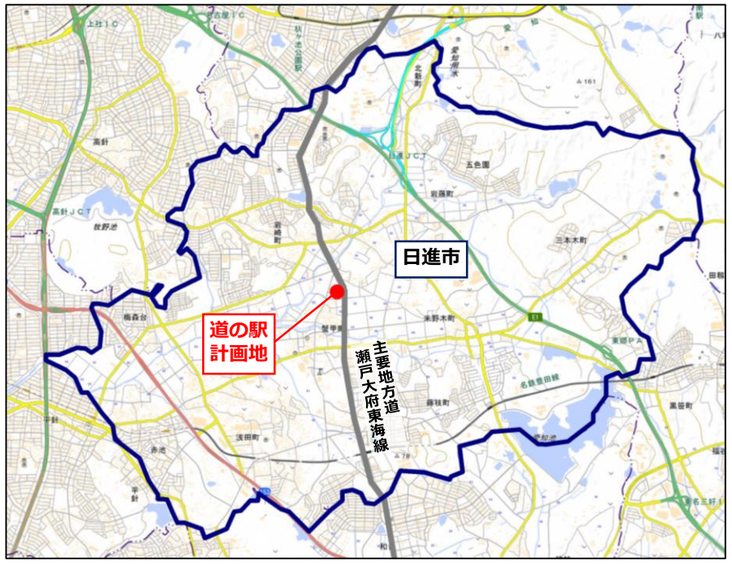
1.　設計概要

1）計画地概要

〇計画地
愛知県日進市本郷町前田 地内

〇整備区域面積
約 20,000 ㎡

〇路線名
主要地方道 瀬戸大府東海線



計画地位置図

2）整備施設概要

機能名	施設名	備考
休憩機能	〇駐車場施設 〇トイレ施設	〇トイレ施設 ・男子トイレ： 小 9器、大 5器、手洗 6台 ・女子トイレ： 13器、手洗 9台 ・多機能トイレ：1室 1器、手洗 1器、手すり等 ・機能拡張ブース：男女トイレ内 各 1ブース 大 1器、オストメイト、 ベビーシート、ベビーチェア、手すり等
地域連携機能（情報発信機能等含む）	〇情報発信施設（休憩施設含む） 〇駐車場施設 〇トイレ施設 〇飲食施設 〇農産物直売・物販施設 〇子育て支援施設 〇屋外広場 〇公園 〇多目的施設 〇DMO活動拠点（事務所） 〇管理施設等 〇半屋外空間 等	〇トイレ施設 ・男子トイレ： 小 3器、大 2器、手洗 3台 ・女子トイレ： 9器、手洗 4台 パウダーコーナー 4台 ・多機能トイレ：2室 1器、手洗 1台 多目的シート、手すり等 ・機能拡張ブース：男女トイレ内 各 1ブース 大 1器、オストメイト、 ベビーシート、ベビーチェア、手すり等 〇子育て支援施設 ・こども用トイレ： 小（幼児用） 2器、大（幼児用） 2器 ・授乳室： 授乳ブース 2室、ベビーシート、 ミニキッチン
防災機能	〇救助救援場所（平常時は駐車場） 〇防災ヘリポート（平常時は屋外広場） 〇防災倉庫 〇耐震性貯水槽 〇自家発電装置	
その他機能	〇バス停施設 〇雨水貯留施設（地下貯留）	

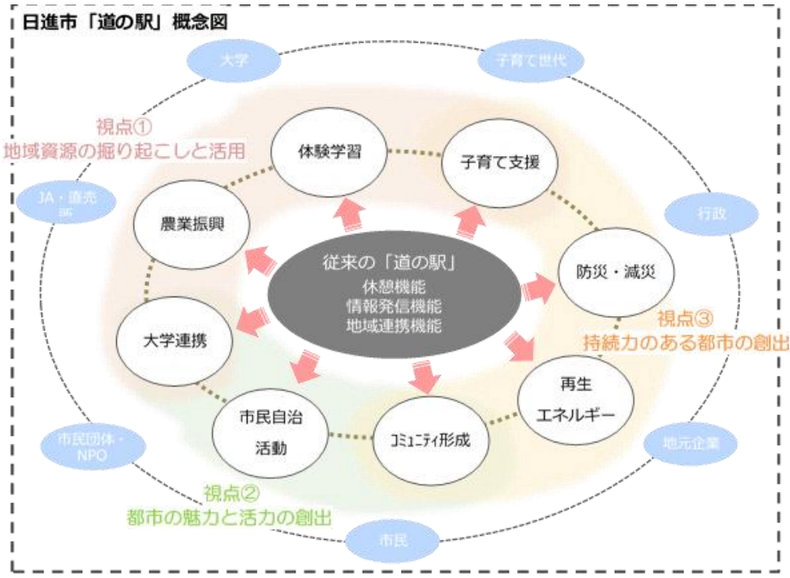
2.　基本方針

1）整備コンセプト（基本計画）

〈 整備コンセプト 〉

市民が集い にぎわい 成長し 都市をデザインする「道の駅」

日進市「道の駅」は、従来の機能を基盤に、日進市の個性や特性、大学や市民自治活動等の地域資源を活かした、地域課題の解決とともに、これからのまちづくりに向けた地域の拠点としての整備を目指します。



重点的に取り組むべき地域課題

- 子育て支援
- 防災・減災
- 農業振興
- 市民まつり等（可能性分析）

2）設計コンセプト（土木基本設計）

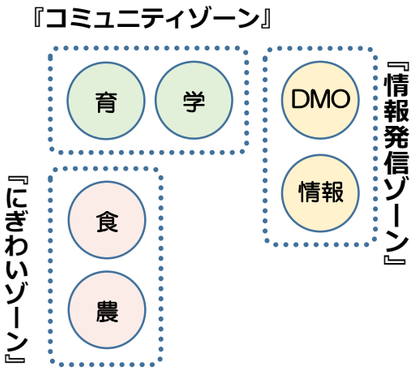
憩い・にぎわい・防災の役割を担う広場を中心としたコンパクトな施設配置

- 明確で分かりやすいゾーニングを意識することで、敷地全体をコンパクトにまとめるとともに、機能的かつ効率的な施設配置とします。
- 車両動線は，円滑な進入、退出ができるよう、主要地方道瀬戸大府東海線に出入口を設置するとともに信号交差点を利用した市道本郷・藤島線からの出入口を設置します。
- 芝生が主体となる屋外広場は、歩行者空間としてのオープンスペースや緑化機能だけでなく、市民をはじめとする利用者の「憩い」「にぎわい」の場であるとともに、地震等の大規模災害発生時には防災機能の役割も果たします。そうした道の駅の主たる機能を持つ屋外広場を中心に各施設を配置することで、各エリアを融合させる空間とします。
- 駐車場施設及び屋外広場は、バリアフリーやユニバーサルデザインに配慮したデザインとし、障がいのある人・高齢者・乳幼児を連れた家族など、より多くの人に使いやすい環境を提供します。

3）設計コンセプト（建築基本設計）

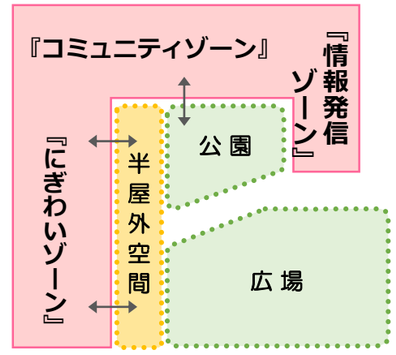
さまざまな活動が共存する機能的なゾーニング

- 市民に加えて広く一般の利用が見込まれる飲食施設、農産物直販・物販施設をまとまった一体空間とします。商業空間として活気あふれる「にぎわいゾーン」を形成します。
- 子育て世代をサポートする子育て支援施設と、生涯学習や体験学習をサポートする多目的施設を「コミュニティゾーン」として落ち着きあるエリアとし、市民のための交流・学習空間がいきいきとした暮らしの一翼を担います。
- ドライバーへの道路情報の提供に加えて、日進市や地域の観光情報の発信拠点を目指し、「情報発信ゾーン」は情報発信施設とDMO拠点が連携できるよう一体的に計画します。



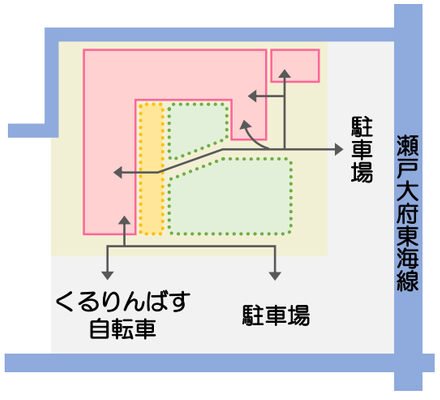
多彩な活動が広がる内と外がつながる建築

- 「にぎわいゾーン」前面に大庇による半屋外空間を設けます。屋内外つなげる半屋外空間は、イベント利用や休憩スペースなどに活用でき、施設のにぎわいをＰＲする場となります。
- 飲食施設と半屋外空間から公園を連続的に配置することで、親が公園で遊ぶ子どもたちの様子を見守りながら、食事や休憩をとることできます。
- 遊具を設置した公園をコの字型に囲む建物形状により、子どもたちに車を意識しなくて良い安全な遊び場を提供します。



利用者にわかりやすく、管理者にも使いやすい動線

- マイカー、くるりんばす、自転車など、どのようなアクセス手段からも視認性のよいエントランス配置とすることで、シンプルで分かりやすい利用者動線とします。
- 自然光を取り入れつつ、夏場の熱負荷が少なくなるような方位を意識した配置、利用者と管理者の動線が交錯しないバックヤード動線など、効率的な管理運営ができる施設とします。
- 機能別にゾーンをまとめることで、各エリアで営業時間が異なる運用にも柔軟な対応が可能となります。



3.　全体計画図

屋内施設
■地域連携機能
（情報発信機能等含む）
- 情報発信施設（休憩施設含む）
- 飲食施設
- 農産物直売・物販施設
- 子育て支援施設
- 多目的施設
- DMO活動拠点（事務所）
- 管理施設等

トイレ
■休憩機能

防災倉庫

公園

屋外広場
（防災ヘリポート）

半屋外空間

駐車場
■休憩機能
・101台

駐車場
■地域連携機能
・65台

バス停施設

さくら

ヨロ

出口

車両入口

大型車

道の駅

主要地方道　瀬戸大府東海線

日進消防南

市道本郷・藤島線

N

0　25M

※関係機関との調整等により変更となることがある。
※今後の詳細設計等における検討・調整により変更となることがある。

【施設概要】
■敷地面積：約20,000㎡
■建築面積：約 2,200㎡
※屋内施設分

4.　施設配置計画

1）施設計画

■ミスト噴水（公園）

見た目の楽しさに加え、ミストの水が公園に潤いをもたらします。夏季には涼しさを演出します。森林の蒸散作用と同じ気化熱の効果で、周囲の温度を2～10℃下げることも可能です。

■シェルター

雨天時でも、駐車場からトイレ、情報発信施設、屋内施設、バス停への移動が、負担なくできるよう連続したシェルターを設けます。

■思いやり駐車スペース

障がいのある人や高齢者、妊産婦などの歩行が困難な人のため、思いやり駐車スペースを設けます。また、雨天時にも快適に乗り降りができるよう十分な大きさのシェルターを設けます。

■駐輪場

屋内施設や屋外広場、公園など、地域の人たちが日常的に気軽に立ち寄れる道の駅として、南側出入口の横に自転車駐輪場を設けます。サイクリング中に情報発信施設や飲食施設に立ち寄る際も利用できます。

■ＥＶスタンド

電気自動車の利用に対応したEVスタンドを設けます。充電中の屋内施設利用にも配慮して、建物に近い配置とします。

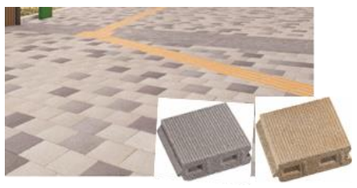
■公園

幅広い年齢層の子どもたちが遊べる複合遊具と、小さな子どもが安全に遊べる小型遊具を配置します。公園のスペース内にベンチを置き、子どもの遊びの見守りや休憩に利用できます。

■屋外広場

子どもたちの遊び場、週末などにはイベントに利用できる広場として整備します。また、イベント開催を想定して、広場周辺部にはコンセントや散水栓を配置します。災害時には緊急時における防災ヘリポートの機能も有しています。

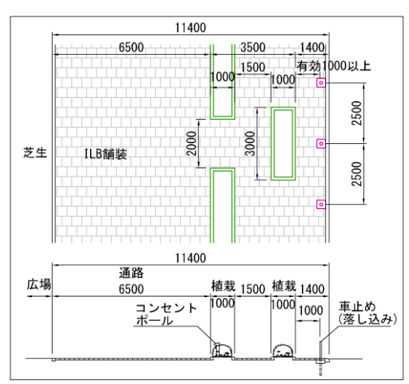
■外周園路



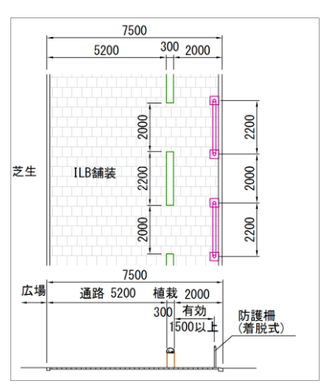
透水性の舗装材で、ブロックの表面に細かい凹凸があるので、滑りにくく安全です。イベント時にキッチンカー等の搬入も可能となるよう車両にも対応しています。夕方時に足元の安全確認ができるよう、フットライトを設置します。

■屋外広場と駐車場との安全対策

屋外広場と駐車場の間に植栽帯等を設置することにより、バッファを持たせることで、利用者の安全に配慮します。



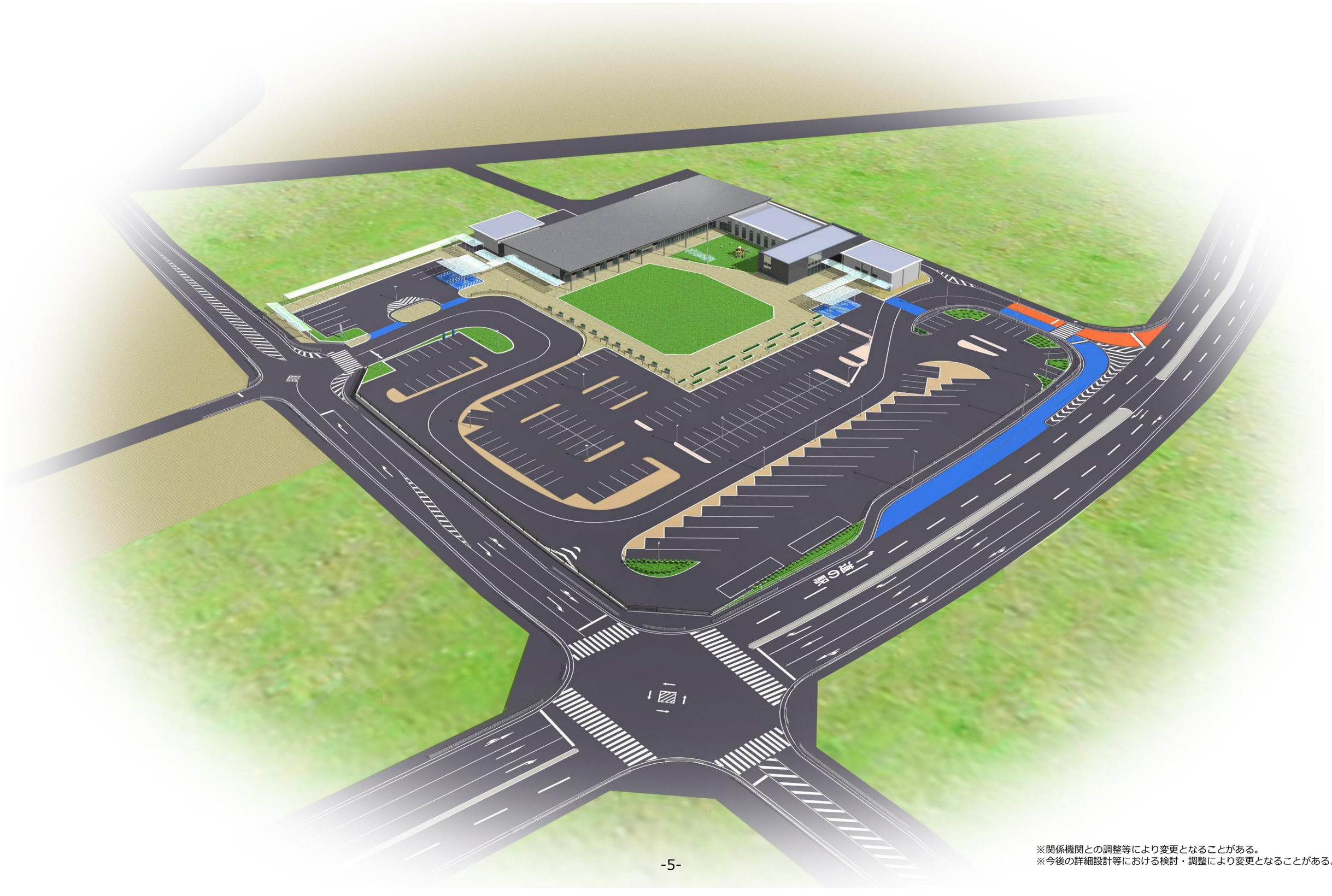
広場東側



広場南側

※関係機関との調整等により変更となることがある。
※今後の詳細設計等における検討・調整により変更となることがある。

5.　施設配置イメージ



※関係機関との調整等により変更となることがある。
※今後の詳細設計等における検討・調整により変更となることがある。

6.　建築デザイン計画

1）デザインコンセプト

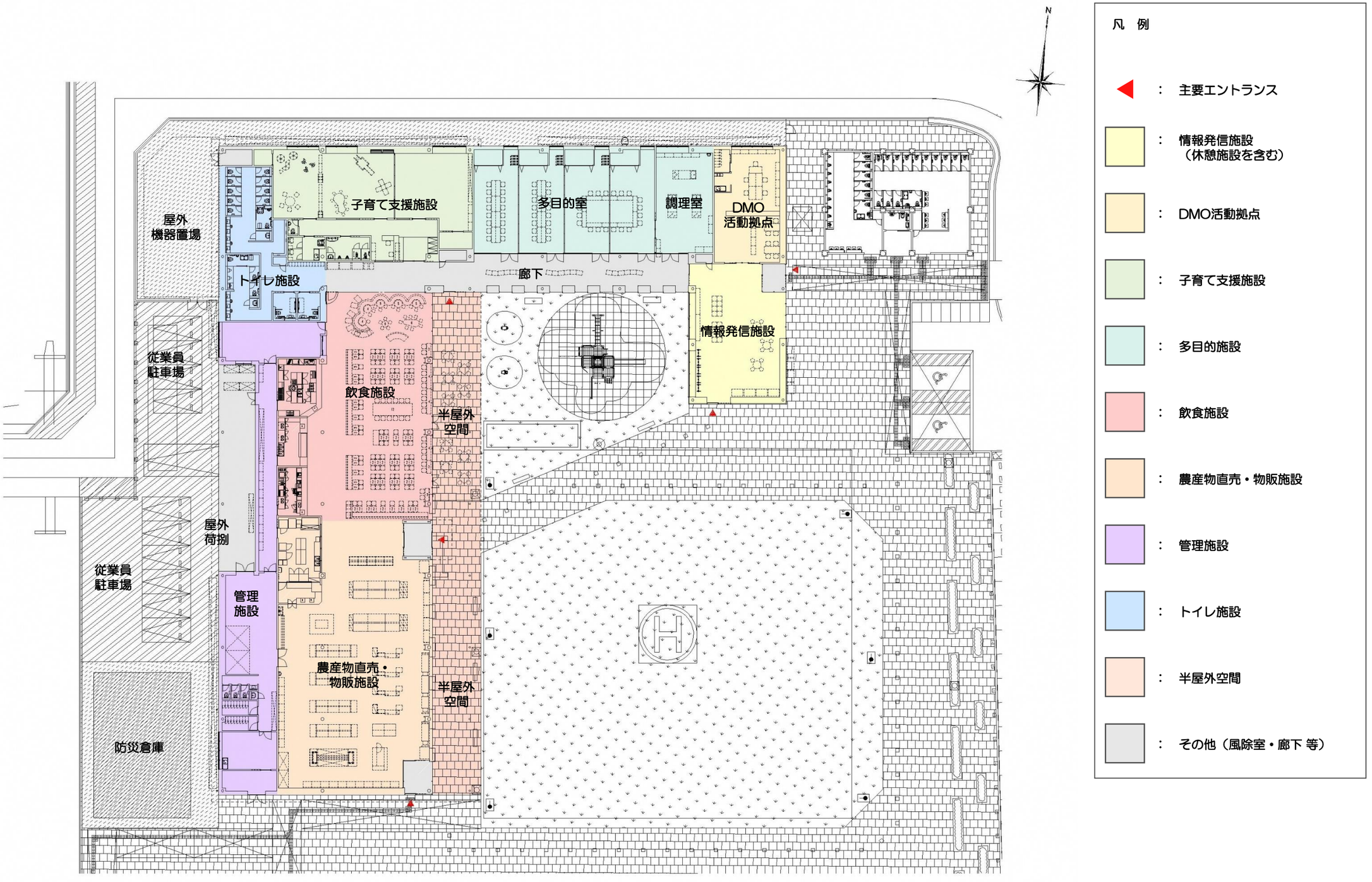
　広場に大きく面し、公園を囲むコの字型の建物形状は、公園で遊ぶこどもたちや広場で交流する人々の姿をより印象的なものとし、広場・公園と施設内が一体となった道の駅となります。施設内の賑わいが表出する開放的なファサードと広場に向かって大きく伸びる大屋根が訪れる人々を迎え入れます。

　無彩色を基調とし周囲の景観に配慮しながらも、シャープな屋根・開放的なガラスファサードの都会的な外観イメージが『都市をデザインする「道の駅」』を目指す日進市の発展を象徴します。

屋内施設イメージ

※関係機関との調整等により変更となることがある。
※今後の詳細設計等における検討・調整により変更となることがある。

7. 建築平面計画



全体平面図
（ S=1/400（A3））

※関係機関との調整等により変更となることがある。
※今後の詳細設計等における検討・調整により変更となることがある。

8.　各室計画

1）各室の概要

〇情報発信施設・DMO活動拠点

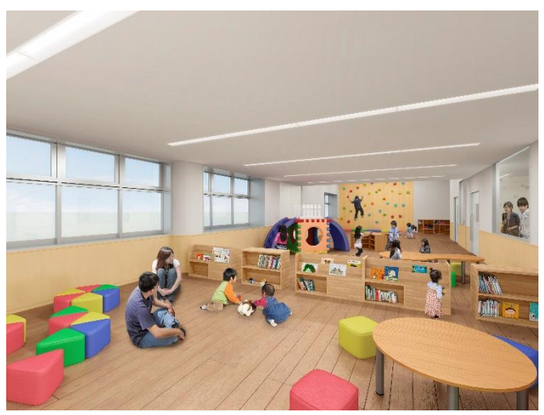
- まず最初に情報発信施設へと立ち寄ってもらえるよう駐車場から最もアクセスしやすい配置とし、トイレ機能と隣接した配置とすることで休憩機能の利便性が向上します。
- 情報発信施設には、情報モニターによる道路情報の提供、自動販売機・パンフレットスペースのほか、壁面にホワイトボードを設置した休憩スペースを設け、多目的に利用できるスペースとします。
- DMO活動拠点は情報発信施設と隣接した配置とすることで、休憩機能利用者と観光客の双方へ市内観光情報や近隣市町村の情報を提供します。

〇多目的施設

- 情報発信施設と飲食施設を行き交う廊下に面して多目的施設を配置することで、イベントや市民活動の様子を見る・見られる関係となり、広く活動を発信することができます。
- ４室の多目的室の間仕切壁を移動間仕切とすることで２室以上を一体とした大空間の確保が可能です。使用人数や用途に応じてフレキシブルに部屋の大きさを変えることができます。
- 調理室には車椅子使用者にも対応した調理台を整備し、多様な利用者の利便性に配慮します。

〇子育て支援施設

- 幅広い年齢のこども達が利用できるように、乳幼児エリア、未就学児エリア、就学児童エリアを配備し、年齢に応じた活動に対応できる施設とします。
- こども用トイレや授乳室を完備します。
- 開放的な空間となるよう各室を見通しやすい計画とします。



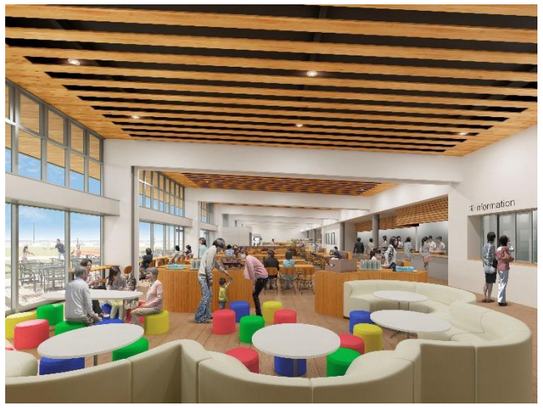
子育て支援施設 イメージ

〇農産物直売・物販施設

- 物販施設と飲食施設はメインエントランスを間にして一体の空間とすることで、双方を気軽に行き来できる施設とします。
- ベーカリーで購入したパンは、飲食施設のドリンクと併せて、客席や屋外のベンチなどで休憩しながら飲食できます。

〇飲食施設

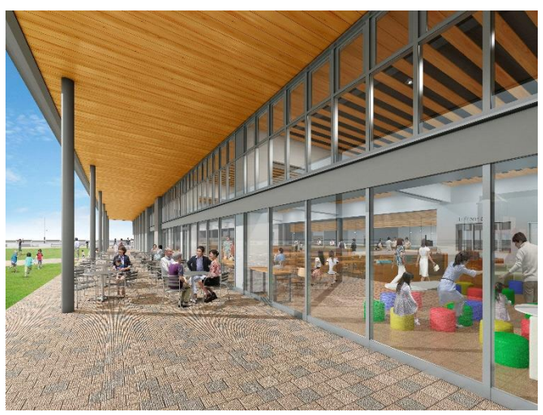
- フードコート形式の飲食施設は施設全体の中央に位置し、気軽に立ち寄り、食事や軽食をとることができます。
- 屋外の公園を見渡せる客席で公園で遊ぶこども達を見守りながら家族で休憩することができます。キッズ席も完備します。



飲食施設 イメージ

〇半屋外空間

- 飲食施設、物販施設の前面の大庇下は、半屋外空間として休憩スペースや催事スペースなど多目的に利用可能です。



半屋外空間 イメージ

2）トイレ施設（地域連携機能）の概要

清潔で使いやすいトイレにするとともに、多機能トイレや機能拡張ブースを充実させ、多様な利用者の利便性に配慮します。

〇トイレ整備内容

- **男子トイレ**
  小：3器、大：2器、手洗：3台
- **女子トイレ**
  9器、手洗：4台、パウダーコーナー
- **多機能トイレ（２室）**
  1器、手洗：1台、多目的シート、手すり 等
- **機能拡張ブース（男女トイレ内：各1ブース）**
  大：1器、オストメイト、ベビーシート、ベビーチェア、手すり 等

手洗空間・パウダーコーナー・多機能トイレ イメージ

3）ユニバーサルデザイン

子どもからお年寄り、障がいのある人も利用しやすいユニバーサルデザインに配慮します。

- ピクトグラムサイン
- 多機能トイレ、機能拡張ブース
- 床点字ブロック
- 音声付き点滅型誘導灯
- 車いす対応調理台
- 飲食施設 キッズ席　　等

分かりやすい
ピクトグラムサイン

障がいのある人にも
使いやすい衛生器具

車いす使用者やお年寄りに
配慮した寸法・形状

9.　概算事業費

「道の駅」における概算事業費は、現時点において試算すると、道の駅整備で約１４億円(用地費含まず）、道の駅に関する周辺道路等整備で約２億円（用地費含まず）を見込んでいます。なお、概算事業費は、今後の詳細設計等における検討・調整により変更となることがあります。

1）道の駅整備　概算事業費

番号	機 能 名	施 設 名	概算事業費	備考
1	休憩機能	○駐車場施設 ○トイレ施設	約2億円	
2	地域連携機能 （情報発信機能等含む）	○情報発信施設（休憩施設含む） ○駐車場施設 ○トイレ施設 ○飲食施設 ○農産物直売・物販施設 ○子育て支援施設 ○屋外広場 ○公園 ○多目的施設 ○DMO活動拠点 ○バス停施設 等	約12億円	
3	合計		約14億円	

*防災倉庫、耐震性貯水槽は、防災に関わる別事業のため除く。
*概算事業費は、今後の詳細設計等における検討・調整により変更となることがある。

2）周辺道路等整備　概算事業費

番号	機 能 名	施 設 名	概算事業費	備考
1	主要地方道 瀬戸大府東海線	道路整備、交差改良	約1億円	
2	市道本郷・藤島線 市道本郷前田線	道路整備	約1億円	
3	合計		約2億円	

*概算事業費は、今後の詳細設計等における検討・調整により変更となることがある。